



2022年度 「公開講座」のご案内



国指定重要文化財 外人宣教師館

弘前学院大学

<https://www.hirogaku-u.ac.jp>

1. はじめに

■ ご挨拶—弘学オープンカレッジへのご招待—

大学の使命の1つに社会連携・社会貢献があります。大学の「知」は、社会に活かされてはじめて大学の使命が果たされます。

日本は現在、「地方の時代」が謳われ、地域主義、地域の活性化が重要な課題となっています。北東北・青森・津軽の地域に在る本学も、持てる「大学の知」を地域社会の充実・発展に資するために、すべての人々に開放し、有効活用していただきたいと願っております。

では、その大学の「知」とは何でしょうか。弘前学院大学ではどんな講義が行われているのでしょうか。弘前学院大学は小さいながらも、文学部（英語・英米文学科、日本語・日本文学科）、社会福祉学部、看護学部の3学部を擁し、地域の課題にえられる分野の教育研究が行われており、各学部の特性に合った幅広く興味深い講義が展開されています。訪問型の「公開講座」と来校型の「開放講義」の2つを用意しておりますので、是非お聴きください。



弘前学院大学 学長
藁科 勝之

■ 「公開講座」と「開放講義」

○ 「公開講座」

弘前学院大学（以下、「本学」といいます）の行う講師派遣事業の通称です。学校教育機関における各種イベント、職場の研究会・研修会、市民サークルの会合などに、本学教員を講師として派遣する事業です。詳細はこのパンフレット「2. 公開講座」をご覧ください。

○「開放講義」

また、本学では、地域の皆さんに通常の講義を学生と一緒に受講して頂く「開放講義」も実施しています。詳細は、本学のホームページ (<http://www.hirogaku-u.ac.jp>) をご覧いただくか、本学までお問い合わせください。

2. 公開講座

■ 文学部

講師名 : 井上 諭一

テーマ①	文学としてのマンガ
概要	<p>文学作品として現代のマンガを読む試みです。この中には2種類の区別があります。</p> <p>(1) 「原作」「原案」があるもの。 これらを取り上げる場合は、「原作」との対比、という面が強くなります。</p> <p>例；原泰久「キングダム」(2006～連載中) ⇒ 「原作」「原案」は、司馬遷「史記」、劉向「戦国策」など。関連する作品として王欣太「達人伝ー9万里を風に乗りー」など。【戦争、LGBTQ+などの問題に焦点を当てて読みます】</p> <p>ゆうきまさみ／カサハラテツロー「アトム ザ・ビギニング」(2015～連載中) ⇒ 「原作」「原案」は、手塚治虫「鉄腕アトム」、関連する先行作品に浦沢直樹「PLUTO」など。【特に「人工知能」(AI)の問題に焦点を当てて読みます】</p> <p>(2) 特に「原作」といえるものがなく、ほぼオリジナルストーリーで、文化史的・芸術的に重要なもの</p> <p>例；野田サトル「ゴールデンカムイ」(2014～連載中) 吉田秋生「海街 diary」(2006～2018) かわぐちかいじ「空母いぶき GREAT GAME」(2020～連載中)</p>
対象等	主に高校生。一般の方々にも。

テーマ②	現代日本文学を読む
概要	<p>世界有数のソフトパワーとされる現代日本文学ですが、なんとなく難解そうでなかなか手を伸ばせないという方も多いのではないのでしょうか。「作者の思想」などの前世紀的思考方を離れて、別の角度から読んでみると、案外簡単に、かつ面白く読めたりするのです。たとえば、こういう小説を、ちょっとアクロバティックに読んでみませんか？</p> <p>例；佐藤正午「月の満ち欠け」2017 高橋弘希「送り火」2018 宇佐見りん「推し、燃ゆ」2021</p>
対象等	主に一般の方々。高校生にも。

講師名 : Edward Forsythe

テーマ①	Learning English using Technology 英語学習でのテクノロジーの使い方
概要	<p>英語を学ぶときにテクノロジーを使えばとても充実した勉強ができます。スマートフォンアプリやウェブサイトで英語の4スキルを練習できます。この講座でリスニング、リーディングとライティング練習のウェブサイトと、会話パートナーの探し方について発表します。</p>
対象等	高校生や市民など

テーマ②	American Indian Cultures アメリカンインディアンの文化
概要	<p>様々なアメリカンインディアン文化について説明します。特に色々な民族の違いや衣類のスタイル、ダンス、民族の言語と話芸について説明します。参加者がアメリカンインディアンの言語を使って自分の話を作る経験もできます。発表者はアメリカンインディアンダンスの衣装で講演することができます。</p>
対象等	高校生や市民など

テーマ③	The History of Secret Codes 暗号の歴史
概要	<p>何百年前から色々な国と人は秘密を伝えるために暗号を使いました。この講座で詳しく暗号の歴史及び現在の暗号の作り方と使い方を説明します。参加者は暗号の作り方を経験できます。</p>
対象等	高校生や市民など

テーマ④	How Secret Codes Work 暗号の作り方
概要	何百年前から色々な国と人は秘密を伝えるために暗号を使いました。この講座で現在の暗号の作り方と使い方を説明します。参加者は暗号の作り方3つを経験できます。
対象等	高校生や市民など

テーマ⑤	Hidden Aspects of Russo-Japanese Relations 日露外交の隠れた側面
概要	日本とロシアは近隣諸国ですが、昔から外交関係で争ってきました。この講座は日露の歴史を説明してから、現在そして未来の日露外交について話します。発表者はアメリカ海軍でロシア語の通訳経験を豊富に持ちます。その経験に基づいて、ロシアの国と国民についても話します。
対象等	高校生や市民など

テーマ⑥	Giving Presentations in English 英語での発表のやり方
概要	現在のビジネスでは英語でプレゼンテーションをしなければならないことがよくあります。この講座で発表によく使う英語の語句を練習し、内容の伝え方とスライドの作り方を分かりやすく説明します。最後に短い英語のプレゼンテーションの練習をします。
対象等	主に高校生。一般の方々にも。

テーマ⑦	Team Teaching in English Classes with ALTs ALTとのチームティーチングの仕方を学ぶ
概要	小中高の英語の授業ではALTとJTEがスムーズなコラボレーションが必要となります。これをやるように、事前準備と指導案の使い方について議論します。チームティーチングを上手くできるように色々な点を提案します。最後にチームティーチングに使える指導案を作ります。
対象等	小中高の教員とALTの方

○講師名 : 鎌田 学

テーマ①	哲学者たちはこう語った一高校生のための「生き方」入門
概要	西洋の哲学者たちは、それぞれ個性的な、インパクトのある言葉で人生の意味について語っています。現代に生きる私たちにとって、人生を考える指針となり得るような言葉です。この講座では、古代ギリシア時代から現代までの哲学者を幅広く取り上げ、彼らの言葉をひもときます。
対象等	高校生、一般の方

テーマ②	はやりの J-POP をく読む>
概要	今はやりの J-POP 数曲を取り上げ、その前景と背景にある <物語> を読み取り、解釈します。それらに共通している「考え方」、「感じ方」はあるのでしょうか？あるとすれば、それは「J」= 日本的でしょうか？
対象等	高校生

テーマ③	アニメ映画を社会・文化論的に深掘りする！
概要	世界中にファンをもつディズニー映画をはじめ、日本が産み出した多くの名作を社会論と文化論の観点から読み解きます。取り上げる作品例は以下の通りです。 「ポカホンタス」(1995年) 「GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊」(1995年) 「雲のむこう、約束の場所」(2004年) 「PSYCHO-PASS サイコパス」(2015年)
対象等	高校生

講師名 : 川浪 亜弥子

テーマ①	Shakespeare の名言から学ぼう！
概要	Shakespeare は 400 年以上も前の時代に活躍したイギリスの劇作家です。400 年余りを経た今でも、偉人の名言という項目でネットを調べてみると Shakespeare の名が筆頭に出てきます。この講座では、Shakespeare が残した名言とされるものをいくつか取り上げ、どのような文脈で使われているのか、また現代の私たちにそれらの言葉はどのような形で生きてくるのかを考えます。そして最後にそれらの言葉を暗記しましょう。
対象等	高校生

テーマ②	文学と映画
概要	欧米の文学作品を映画化したものをいくつか挙げ、オリジナルの文学作品と映画作品の比較を通して、そこにあらたに盛り込まれた時代の諸相を考えます。
対象等	高校生

テーマ③	British Rock を考える
概要	この講座ではイギリスのロックミュージックの楽曲をいくつか取り上げて、イギリスの文化を覗いてみたいと思います。まず、歌詞の意味や英語の使い方を見て行きます。さらに、その曲が書かれた社会的状況や時代的背景も合わせて考えていきます。最後に一緒に歌えるようになるといいですね。
対象等	高校生

講師名 : 佐々木 正晴

テーマ	眼で見たものは本物か？ 逆さの世界と初めて見る世界
概要	1889年、アメリカの心理学者Strattonは世界が逆さに見えるめがねを自作し、数日間自らそのめがねをかけて生活した。Strattonは一体何を知らうとし、そのような実験を行ったのであろう。他方、一定の生活歴を経て初めて眼を開いた人たちは一体何を見るのであろう。Chesseldenは1728年に初めてその状況について報告している。
対象等	どなたでも

講師名 : Steven MacWhinnie

テーマ①	Mindsets: Learning from failure マインドセット：失敗から学ぶこと
概要	<p>The degree to which failure influences a persons' sense of well-being is directly related to how they handle that failure. Learning from mistakes is a common adage yet using that failure as a means to move forward is a challenge that many face. This lecture explores the concept of Mindsets drawing on historical and contemporary examples, as well as including suggestions for realizing personal potential.</p> <p>(失敗が人々の幸福感にどの程度影響を与えるかは、その失敗をどう扱うかに関係しています。失敗から学ぶことは格言ですが、前進するための手段として失敗を使用することは、挑戦です。この講義では、人間の可能性を実現するための提案を含め、歴史的および現代的な例を基にしたマインドセットの概念を説明します。)</p> <p>言語：英語または日本語</p>
対象等	高校生または一般の方

テーマ②	Global Mindsets: Thinking cross culturally グローバルマインドセット：異文化の理解
概要	<p>Being able to think critically about topics is increasingly important in our increasingly global world. Being able to approach any problem or issue with an understanding of a variety of cultures can lead to richer, more effective solutions. This lecture explores ideas about culture and what can be learned from understanding cultural differences.</p> <p>(ある話題について批判的に考えられることは、グローバル化の世界においてますます重要になっています。さまざまな文化を理解しながら、問題に取り組むことができれば、より豊かで効果的な解決策につながる可能性があります。この講義では、文化とは何か、世界の文化の違いを理解することから何を学ぶことができるかを探ります。)</p> <p>言語：英語または日本語</p>
対象等	高校生または一般の方

テーマ③	History of the English language 英語の歴史
概要	<p>English has become the lingua franca. It is the language that is used around the world for communication in business, science, and technological development. However, English did not always have such an esteemed position in the world. This lecture maps the development of the English language to become the indispensable communication tool of today.</p> <p>(英語が世界の共通語になりました。ビジネス、科学、そして技術開発におけるコミュニケーションのために世界中で使われている言語です。しかし、英語は世界で昔からそのような尊敬される立場を持っていませんでした。この講義では、現在のコミュニケーションツールになるための英語の発展について説明します。)</p> <p>言語：英語または日本語</p>
対象等	高校生または一般の方

テーマ④	Making presentations in English 英語でプレゼンテーション!
概要	<p>Whether it be for business or academics, being able to make effective presentations in English is a necessary skill. This presentation discusses ways to make effect presentations in English, from the use of set structures to move a presentation, to the way that body language can support the presentation.</p> <p>(ビジネスであろうと学術であろうと、英語で効果的なプレゼンテーションをできることは必要なスキルです。このプレゼンテーションでは、プレゼンテーションをするためのストラクチャーから、ボディランゲージをする方法まで、英語で効果的にプレゼンテーションを行う方法について説明します。)</p> <p>言語：英語または日本語</p>
対象等	高校生または一般の方

講師名 : 畠山 篤

テーマ①	地域文化の発掘と発信
概要記載	① 山伏神楽の「鐘巻」（宗教的なジェンダー）・「蕨折」（老人の恋）などの鑑賞。 ② 津軽地方の鬼（大人）伝承の特質。 ③ 東アジアのなかの安寿姫（岩木山の神）伝承の特質。
対象等	高校生あるいは一般の方

テーマ②	古事記・万葉集の解釈と鑑賞
概要	① 古事記の色好み伝承の特質。 ② 万葉集の「紫」の歌の発想。
対象等	高校生あるいは一般の方

講師名 : 楊 尚眞

テーマ①	太宰治の「人間失格」と聖書
概要	「人間失格」は太宰治の作品の中で最も多くの人に読まれている作品である。「人間失格」の中にはキリスト教に自己の救いを求める太宰の姿が描かれている。太宰は精神病院での入院中は聖書だけを読んだ。彼は自分自身が人間失格であると思う反面、聖書の真理を通して新しい人生の道を探し求めたのである。彼はキリスト教信者になるまでには至らなかったが、切実に神に救いを求めた彼の姿を紹介する。
対象等	高校生あるいは一般の方

テーマ②	芥川龍之介の文学作品とキリスト教
概要	芥川龍之介は15編ものキリスト教に関連する作品を著したが、キリスト教信者ではない芥川はエキゾチックな面と多角的な面でキリスト教を認識した。ある時にはキリスト信仰の中に自分自身を没入し、また、ある時には第三者の立場に立ちキリスト教信仰に対して共感と批判の目を同時にもったが、キリストを自分の信仰の対象にせず、「私のキリスト」としたが、キリスト教の思想は彼の考え方とは切り離すことはできない必要なものであった。彼の文学に表されたキリスト教に対する考えを紹介する。
対象等	高校生あるいは一般の方

テーマ③	福沢諭吉とキリスト教
概要	「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」で有名な明治維新の偉人である福沢諭吉はキリスト教排撃者であると思われていたが、ある外国人宣教師との出会いと交友を通してキリスト教に対する考えが変わって行く。そして彼の思想にはキリスト教的な要素が含まれるようになる。福沢の外国人宣教師との交友のストーリーと彼の思想の中の「キリスト教的」な要素を紹介する。
対象等	高校生あるいは一般の方

■ 社会福祉学部

講師名 : 石田 和男

テーマ	少子化を止めた国—フランス事情—
概要	少子化対策先進国フランスの歴史的経過をたどりながら、数々の困難を乗り越え、世界一の出生率を誇る国に変わって行った様子を探っていきます。
対象等	高校生

講師名 : 小川 幸裕

テーマ①	対人援助とコミュニケーション
概要	人を支える仕事をする上で人とうまくかかわる力がなければ、相手への思いがいくら強くても苦しみや悲しみを理解し、やわらげることは難しいものです。本講座では、日常生活に困難を抱える人へのまなざしを学ぶとともに、「伝える技術」と「聴く技術」を体験します。
対象等	高校生あるいは一般の方 参加型の講座のため受講人数は 40 名程度でお願いします。

テーマ②	日常業務に活かせるスーパービジョン
概要	対人援助の職場において人材育成は重要な課題となっています。対人援助職が支援の質を向上しながら働き続けるためには、スーパービジョンの理解と技術の習得がとても大切です。本講座では、演習をとおして日常業務に活かすことができる実践的なスーパービジョンを学びます。
対象等	高校生あるいは一般の方 参加型の講座のため受講人数は 40 名程度でお願いします。

講師名 : 葛西 久志

テーマ	精神保健福祉士になろう！ —心の病を持つ人たちの理解と支援について—
概要	社会福祉にはどんな専門職があるのか？社会福祉専門職の一つである精神保健福祉士についてスポットを当て、その仕事の目的・意義や対象となる心の病を持つ人たちへの理解と支援について学びます。
対象等	高校生 授業会場にてパソコン・プロジェクタの使用を希望します。

講師名 : 駒ヶ嶺 裕子

テーマ①	聴き上手になろう —傾聴力を磨く—
概要	傾聴とは、相手の話に耳を傾けて熱心に聴くことを指します。近年の状況から、誰かに理解されたい、認められたい、肯定されたいという人が増えているようです。そこで本講座では、話をする側が心地よく、この人に打ち明けてみたいと気持ちを湧かせる「傾聴力」を学びましょう。
対象等	高校生、社会人（対人援助の専門職） おおよそ30人程度でお願いします。

テーマ②	心をアートで表現する（自己理解）
概要	本講座は、自己の心（さまざまな感情）を絵画で表現することで、自分の置かれている現状や行動を客観的に見つめることを目的としています。さらに自己と他者の違いを理解するためにグループ形式で行います。
対象等	高校生、社会人（対人援助の専門職） おおよそ30人程度でお願いします。 クレヨンまたは色鉛筆の人数分の準備をお願いします。

講師名 : 西東 克介

テーマ①	18歳選挙権と請願権
概要	日本国憲法第16条には、国籍と年齢に関わらず、誰もが議会や行政に対して発言できる権利が保障されています。他方、18歳選挙権は、日本国籍と18歳という条件が必要です。双方の共通する、また異なる意義について考えます。
対象等	高校生あるいは一般の方

テーマ②	いじめ問題と集団主義文化(KY)
概要	我が国では、学校教育や企業など、あらゆる組織で集団主義文化による慣習・規則が根ついていきます。学校教育では、小学校1年次から集団重視の教育が行われます。この文化には、平均的な能力を向上させるにはプラスとなりますが、いじめ問題に見られるように多数派が少数派を排除してしまうというマイナス面があります。いじめ問題に絡めて、集団主義文化のプラス面とマイナス面を考えます。
対象等	高校生あるいは一般の方

テーマ③	学級カーストとそうじ
概要	学級カーストは、学級内のマイナス集団主義文化が根づいた状態をいいます。これが根づくとはそう簡単には壊れません。しかし、根づきにくい方法が一つあり、学校で毎日行う掃除を担当・副担当が観察することです。そうじを生徒任せにしている学級で学級カーストが発生しやすくなります。その理由について考えてみます。
対象等	高校生あるいは一般の方

テーマ④	うわさと集団主義文化(KY)
概要	「人の不幸は蜜の味」といわれるように、他人のマイナス面のうわさは瞬く間に広がります。この噂は、顧人主義文化の弱い我が国では広まりやすくなります。学校のみならず、あらゆる組織、集団、グループでうわさが固定化されると、これを改めるには、人間の大変なエネルギーが必要となります。いじめと差別の問題を考えると、わかりやすくなります。
対象等	高校生あるいは一般の方

テーマ⑤	ソーシャル・ネットワーク(SNS)のうわさは本当か
概要	うわさにも口コミといわれる(飲食店の)味や、医療についてはどちらかといえば、プラスの情報が多く、しかも実際に自分で確かめられるものもあります。他方で、マイナスのうわさは確かめられないものが多い傾向にあります。にもかかわらず、思い込んでしまう人間もいることから、思い込みのプラスとマイナスについて考えます。
対象等	高校生あるいは一般の方

講師名 : 高橋 和幸

テーマ①	人を助けること ～福祉の仕事のやりがい～
概要	現代社会では少子高齢化、核家族化、人間関係の希薄化などが進展しており、問題を抱えた家族が発生しがちです。複雑化する社会の中で、福祉に対する国民の期待は高まるばかりです。講座では、福祉サービスを必要とする対象が広がっていることを学ぶと共に、これらの領域でどのような社会福祉専門職の活躍が見られるかについても紹介します。受講を機会に、福祉に興味を持って頂ければ幸いです。
対象等	高校 1,2 年生向け、進路決定に向けた情報提供です。

テーマ②	雪国らしいボランティア ～除雪ボランティアの魅力～
概要	豪雪地域に暮らす除雪に困難さを抱える高齢者世帯の数が増加する中で、除雪ボランティアへの期待が高まりつつあります。除雪ボランティアを実践することで達成感、思いやりの心を育む、人間関係が広がるといった効果も期待できます。雪国で暮らすことに暗いイメージを持つのではなく、雪を介して交流が生まれると前向きに捉えられるよう「除雪ボランティアの魅力」をお話します。
対象等	高校生

講師名 : 柘植 秀通

テーマ①	キリスト教と社会福祉 ～歴史と未来へ～
概要	キリスト教の 2000 年の歴史は、単に協議の歴史のみでなく、博愛の実践を通して、民衆に働き続けてきたものです。西欧の福祉は、全てこのキリスト教の実践を基礎として、発展してきました。また、日本においても明治以降の福祉の歴史は、キリスト教徒の実践を抜きには語れません。その中で、どのような思いと使命、ヴィジョンをもって、先達が働き、それが、将来の福祉にどのような意味を持っているかを考えていきたいと思えます。
対象等	高校生あるいは一般の方

テーマ②	遊びについて ー体育館等の広い場所で一緒に体験しよう!ー
概要	遊びは、人間にとって非常に重要なものであり、生涯にわたって必要なものです。遊びを通して、人はコミュニケーションを学び、社会性を身に着けていきます。そうした、遊びを通して、社会を学ぶ経験を、実践の遊びを通して経験してみましよう。
対象等	高校生あるいは一般の方 体育館・講堂等の広い場所の設定をお願いします。

講師名 : 藤岡 真之

テーマ	新しい消費スタイルについて考える
概要	社会が成熟するにつれて新たな消費スタイルが模索されています。フェアトレード、エコ消費、エシカル消費、クラフト消費などといった環境、社会、コミュニティを重視する新たな消費スタイルについて、海外における先進的な事例も交えながら考えていきます。
対象等	高校生以上

講師名 : 丸山 龍太

テーマ①	生活保護担当ソーシャルワーカーの仕事
概要	最後の安全網と呼ばれる生活保護は、社会保障でも最重要となる制度です。この生活保護を担当するソーシャルワーカーの仕事を見ながら社会保障の理解を図ります。
対象等	高校生 資料データを用意しますので、開催校にて人数分の印刷をお願いいたします。

テーマ②	社会福祉士とは? ~生活を支える力もち~
概要	人々の生活をお手伝いするプロフェッショナル、それが社会福祉士です。でも、具体的なプロの仕事を知らない人が多いのでは? 仕事を見ながら社会福祉士の理解を深めましょう。
対象等	高校生 資料データを用意しますので、開催校にて人数分の印刷をお願いいたします。

講師名 : 棟方 達也

テーマ①	オリンピックを知る
概要	オリンピックについて、歴史、制度、記録などの視点から探ってみましょう。
対象等	高校生

テーマ②	スポーツと自然
概要	自然を相手にする、あるいは自然条件の影響を受けるスポーツの面白さや難しさとは？一方、競技化の矛盾やその可否を問う。
対象等	高校生

■ 看護学部

講師名 : 阿部 智美

テーマ	看護場面のコミュニケーション
概要	看護場面のコミュニケーションを紹介しながら、看護師の役割や必要な態度について考えていきたいと思います。
対象等	高校生

講師名 : 井澤 美樹子

テーマ①	病いとともに生きる人の看護
概要	病いとともに生きる人の看護 治癒しない慢性の病いとともに生きる人の看護について深く考えます。目の前の人は患者ではないのです。
対象等	高校生

テーマ②	心のつぶやきを知って気持ちを楽にしよう！
概要	人間の感情を創る心のつぶやきを変えると、嫌な気持ちが少し楽になります。体験を通して学びましょう。
対象等	高校生

講師名 : 宇田 宗弘

テーマ①	健康の保持増進のための身体運動・トレーニング
概要	健康の保持増進のための身体運動・トレーニングについて最近の研究を踏まえて解説するとともに、自宅でできる簡単な自体重を負荷とした筋力トレーニングや、持続性トレーニングを行います。
対象等	高校生、一般の方

テーマ②	健康運動相談（個別相談）
概要	健康のために運動をしたいけど、どのような運動をしたらよいかわからない、運動をしたいけど、忙しくて運動する時間がないなど、運動に関する相談を承ります。また日常生活で行うことができる運動について提案いたします。
対象等	一般の方で、弘前学院大学に来ることができる方（要予約）

講師名 : 大瀬 富士子

テーマ	赤ちゃんを健やかに産み育てるために
概要	将来、赤ちゃんを健やかに生み育てるために、男子にも女子にも、今からできることをお伝えします。知れば役立ち普段の生活を見直す機会になりますように。
対象等	高校生

講師名 : 小野 綾

テーマ①	「社会で支える認知症」
概要	● 認知症のいろんな側面 ● 認知症の人の世界について知ろう ● 認知症の方をみんなで支える事の重要性
対象等	高校生

テーマ②	「重力との闘い。床ずれ（褥瘡）とその予防」
概要	奥が深い床ずれ（褥瘡）の科学について
対象等	高校生

講師名 : 川村 泰子

テーマ	保健師の仕事
概要	看護職のひとつである、保健師とは、どのような仕事をする看護職なのか
対象等	高校生

講師名 : 幸山 靖子

テーマ	自分の身体を観察してみようー循環器ー
概要	自分の身体の観察についての講義・演習を通して、看護学への理解を深めましょう。
対象等	高校生

講師名 : 齋藤 史恵

テーマ	子どもと家族
概要	家族の中で子どもとは、母性とは、父性とは、子どもの立場から家族システムを考えていきましょう。
対象等	高校生

講師名 : 佐藤 厚子

テーマ①	人生100年の転倒予防
概要	寝たきりの大きな原因は「転倒」であり、転倒歴がある高齢者は1年以内に再度転倒するリスクがあります。特に女性はホルモンバランスの変化とともに、骨粗鬆症となり、転倒した際に寝たきりになる可能性が高いと言われてきました。しかし、人生100年を迎えて男性も同じようにリスクがあることが分かってきました。本学が開発した転倒予防スリッパはつま先をあげる筋肉を刺激するおもりが足背に装着されています。一日10分週に数回履いて歩くだけで転倒予防ができます。コロナで家に閉じこもることが多い昨今ですが、転倒予防スリッパでトレーニングしてみませんか？
対象等	高校生

テーマ②	シンデレラ姫は美を保てたか
概要	皆さんの日常で大切なものは何でしょう。シンデレラ姫の物語を題材にして「今」「将来」にわたって大切な健康について考えましょう。
対象等	高校生

講師名 : 菅原 大輔

テーマ	こころの病について
概要	「こころの病」とは何か、そして、「こころの健康」とは何かについて解説します。また、10代に罹患しやすい主な精神病について解説します。
対象等	高校生

講師名 : 高田 まり子

テーマ	病院から自宅へつなぐ看護
概要	人工呼吸器を装着している小児が、自宅療養を選択した場合病院看護師や訪問看護師は、家族や地域住民へどのような支援を行っているかを紹介します。
対象等	高校生

講師名 : 舘山 光子

テーマ	手術後は安静にしない！？今どき周術期看護の常識
概要	「手術が終わった後、ベッドで安静にしていることで、本来の病気以外にもたくさんの不都合（術後合併症）が起こることがわかってきました。胃の手術をしたのに肺炎で治療が必要になる患者さんもいます。 手術を受けた患者さんの回復を助けるために看護師が行っている援助について紹介します。
対象等	高校生

講師名 : 田中 真実

テーマ①	新型コロナウイルスを知ろう
概要	<ul style="list-style-type: none">・ウイルスの構造・ウイルスの感染、増殖・新型コロナウイルスワクチンについて・なぜ石鹸で洗うの？ 上記内容を、図および動画で分かりやすく解説します。
対象等	高校生以上

テーマ②	世界初！iPS細胞を用いた冠攣縮性狭心症病態の解明
概要	<ul style="list-style-type: none">・iPS細胞とは？・狭心症について・冠攣縮性狭心症病態の解明 上記内容を、図および動画で分かりやすく解説します。
対象等	高校生以上

講師名 : 土屋 陽子

テーマ	看護のやりがいはどこにあるのでしょうか？
概要	看護師と大学教員の経験が併せて40年を超えますが、どこにそれだけ長い年月続けるだけの原動力があるのでしょうか？決してお金だけではない、「看護のやりがい。看護師としての生き甲斐」について、これまでの経験を振り返って、これから看護職に進みたいと思っている皆さんにお伝えできたらと思います。
対象等	高校生

講師名 : 三上 聖治

テーマ①	疫学から見た森鷗外と高木兼寛
概要	明治時代の日清・日露戦争を舞台とした、陸軍海軍の脚気論争の話。
対象等	どなたでも

テーマ②	食の安全と公衆衛生学
概要	化学物質や微生物の暴露からどのようにして健康を維持するかについて考え、易しく解説します。
対象等	どなたでも

テーマ③	保健統計と医療
概要	保健統計からみた健康問題のこれまでとこれからについて解説します。
対象等	どなたでも

講師名 : 柳澤 尚代

テーマ①	何が健康を創り出すのか？
概要	自分の生活を振り返りながら、健康について考える機会とすることを目指しています。
対象等	高校生

テーマ②	世界における健康づくりの流れ
概要	1986年にWHOがヘルスプロモーションを提唱して以降、健康の概念が大きく変化し、その活動スタイルも変わってきています。日本での活動を紹介しながら、世界での活動の流れを考えたいと思います。
対象等	高校生

テーマ③	日本の子供たちは、地域でどのように育っているのか？
概要	日本では、現在フィンランドのネウボラの活動を参考にした活動の推進が図られています。なぜ、このような日本版ネウボラの活動が期待されているのかについて、皆さんと考えたいと思います。
対象等	高校生

3. 申し込み方法

○申し込み方法

ご希望の講座がありましたら、講師を派遣いたしますので、本学へEメール・FAX・ハガキなどでご連絡ください。
 (恐れ入りますが代表番号が混み合いますので、できるだけ上記の方法でご連絡頂ければ幸いです。)
 折り返し、当方からご連絡申し上げます。

なお、お申し込みの際は、次頁の「申込書」をご利用頂くか、「申込書」の内容をご参考の上、ご連絡ください。

○お申し込み・お問い合わせ先

弘前学院大学

〒036-8577

青森県弘前市稔町13-1

TEL 0172-34-5211（代）

FAX 0172-32-8768

E-mail: koukai@hirogaku-u.ac.jp

○講師の派遣について

- * ご希望の講師・テーマ・日時・場所（会場）等をうかがった後、本学の「公開講座委員会」において、派遣を正式に決定いたします。
- * 本学の行事日程などによって、ご希望に添えないこともあります。ご了承くださいますようお願い申し上げます。
- * 講師料は無料です。講師の交通費も不要です。講座によって、一部実費がかかります（詳細は各講座の概要をご覧ください）。

2022年度 弘前学院大学公開講座申込書

弘前学院大学 公開講座受付担当 行

FAX 0172-32-8768

○講師名

--

○テーマ

--

○第1希望の日時

年	月	日 ()	:	~	:
---	---	-------	---	---	---

○第2希望の日時

年	月	日 ()	:	~	:
---	---	-------	---	---	---

○場所 (会場)

○受講者数

	約 人
--	-----

■ 申込者（代表者）

○ お名前（ふりがな）

○ 学校・会社・団体名

○ ご住所

○ お電話

○ FAX 番号

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

○ E-mail

※ 個人情報は、本学公開講座のご連絡以外には使用いたしません。